

里山辺地区

平成28年度

推進交付金：750,000円

取組み1 里山辺わいわいカレー事業

推進交付金の活用

里山辺公民館、里山辺地区まちづくり協議会共催

有

(1) 目的

小学生と保護者が、地域の方々と農作業を行い、地域のつながり・自然との関わり・食物の大切さを学びます。

(2) 取組み

ア 小学生等（延べ105名）が、地区の農業後継者の皆さんから学び、水田（7アール）での米作りと、畑（2アール）でのじゃがいも・人参等の栽培・収穫を行いました。

イ 地元の協力者と共に収穫した米や野菜を使ったカレーを作り、収穫祭を開催しました。

5/22 田植え



6/26 ジャガイモの芽かき



10/2 稲刈り



10/16 ニンジンの収穫



(3) 今後の展開

参加者の固定化や事業内容のマンネリ化などに対し事業内容の検討を行い、魅力ある事業を継続します。

取組み2 里山辺地区あいさつ運動推進事業

推進交付金の活用

里山辺地区まちづくり協議会主催

有

(1) 目的

地域と学校の連携により「声かけ、あいさつ運動」を実施し、家族・地域のつながりを深め豊かな人間関係のある明るい住みよい地域を目指します。

(2) 取組み

ア 平成26年度から継続する「あいさつ運動」の地区内の状況把握を目的として地区住民や小中学生を対象にアンケートを実施しました。

イ アンケートとともに標語を募集し、集まった116点の中から優秀標語7点を選出して、優秀標語提案者6名に賞状及び記念品を贈呈しました。

ウ 優秀標語7点を掲載した平成29年度カレンダーを作製し、地区内全戸及び山辺小・中学校等に配布して、あいさつ運動の推進に努めました。

【選出された優秀標語】

「挨拶が 結ぶ人の和 地域の輪」

「挨拶で ほほ笑む笑顔 深める絆」

「あいさつは してもされても いい気持ち」

「一人のあいさつ みんなの笑顔」

「一言で 町があかるく こんにちは」

「あいさつで 笑顔あふれる 里山辺」

「あいさつで 芽生える山辺の 地域愛」

作製したあいさつ運動カレンダー

優秀標語提案者の皆さん



(3) 今後の展開

この運動が地域に浸透し、豊かな人間関係のある明るい住みよい地域となるよう様々な方面から事業内容等について検討します。

取組み3 里山^{ゆかり}辺所縁の歌復刻事業

里山辺所縁の歌復刻事業実行委員会主催

推進交付金の活用

有

(1) 目的

これまで地区の歴史とともに息づき歌い継がれてきた歌の数々が、時を経る中で忘れられつつあるので、これからも地区住民がそれらの歌を大切に継承するために、作詞者や作曲者の思いとともに「所縁の歌」として復刻し、CD化します。

(2) 取組み

ア 里山辺に伝わる歌（＝所縁の歌）等を、地区住民や山辺小・中学生の歌唱によってCDに収録しました。

イ 作製したCDを町内公民館や山辺小・中学校等の地元関係団体へ寄贈し、地区住民を中心に広く販売しました。

作製したCD

「こころの故郷 里山辺」



(3) 今後の展開

地区全体で歌い継いでいくため、小・中学校等や地区行事（運動会や文化祭等）で活用し、幅広い世代の住民が所縁の歌を知って、覚えるきっかけづくりを進めます。

取組み 4 里山辺地区防災訓練(避難所開設・運営訓練)実施事業

里山辺地区まちづくり協議会、里山辺地区自主防災連合会共催

推進交付金の活用

有

(1) 目的

実践的な地区防災訓練を通して、災害時のスムーズな避難所の開設・運営等ができる体制づくりを目指します。

(2) 取組み

ア 毎年実施している地区防災訓練に避難所開設・運営訓練を取り入れ、避難所の開設や運営の総合的な流れと避難所運営委員会の各活動班の活動内容を確認・実践しました。

イ 避難所開設・運営訓練では、避難所への避難訓練や町内パトロール、応急危険度判定、市の給水車による給水訓練、エコノミークラス症候群防止体操、避難所生活に関する講演会、炊出し訓練等を実施しました。

ウ 避難所整備事業として、地域づくり推進交付金を活用し地区内避難所の必要備品を整備しました。

避難所運営会議の様子



避難所内の避難者の様子



炊出し訓練の様子



給水訓練の様子



(3) 今後の展開

ア 避難所運営委員会の役員が交代しても組織体制を継続できるように、地区防災訓練において避難所開設・運営訓練を実施します。

イ 前年の反省を生かした訓練内容等を検討し、実践的な訓練を実施します。

取組み 5 里山辺地区まちづくりトーク

推進交付金の活用

里山辺地区まちづくり協議会主催

無

(1) 目的

「みんなで将来の里山辺を考えよう」というテーマを掲げ、地区住民の皆さんと立場を越えて里山辺のまちづくりについて自由に語り合います。

(2) 取組み

ア まちづくりの課題や現状を説明した後に意見交換を行い、多くの意見・提案が出されました。

イ 環境に配慮した取組み、子どもの見守りに関する取組み、あいさつ運動の進め方、地域包括ケアなど多岐に亘る意見や提案が出され、参加者の「里山辺をよりよくしたい」という想いが感じられる場となりました。



(3) 今後の展開

地区住民が「里山辺のまちづくり」について語り合う貴重な場として、幅広い世代の住民が多数参加できるよう工夫しながら継続開催します。